

公表:平成 30 年 12 月 28 日

事業所名 ちゃぼとひよこしまなみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	衛生面や冷暖房に注意している。	加湿器等についても、検討する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3	平成30年7月に開始した施設のため、していない。	パンフレットや説明資料で説明しており、ホームページを検討中
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	2		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	3	職務会議で情報共有を実施	更なる、有効支援に向けて取り組む。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	2		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	各研修や協議会に出席させている。	相談員等からの情報や連携について、積極的に対応している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		
	保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	
㉜		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			
㉞		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		
㉟		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		
㊱		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	連絡ノートや口頭による情報共有を実施している。	相談や申し入れについて、内容次第では、個別訪問し、相談している。
㊲		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
㊳		個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1	写真等を取り扱う場合には、使用目的に応じて注意している。	パソコン等にセキュリティをほどこしている。
㊴		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		
㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1			

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	平成30年12月、避難訓練を実施	緊急時対応マニュアルを作成し、周知及び訓練を実施している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2	実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	3	情報を職員間で共有している。	児童についての、様子等について、会議を実施している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	1	情報に基づく、対応共有を実施している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	3		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成 30年 12月 28日

事業所名 ちゃぼとひよこしまなみ

保護者等数(児童数) 6名 回収数 5 名 割合 83%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4			1	十分な広さだった。	活動の内容によっては、近くの庭園や備え付けの公園も使用します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	2		1	もっと、専門性のある先生がほしいのでは。	有資格者だけでなく、研修による能力や技術の育成も行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1		2	バリアフリーは、必要だと思う。	施設状況等も検討し、優先順位を定めて実施して行きたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			1	楽しく過ごせていると思う。	十分な空間を生かした支援を実施している。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	2			成長の過程がもっと分かればいいのに。	担当の先生から、情報を提供するようにしたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	2		2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	2		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	3				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1		1	保育所等との交流の増加が望ましい。	情報交換も含めて、もっと交流を増やしたい。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4			1	訪問等のときに、きちんと、丁寧な説明を受けました。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	1	2	1	1	支援内容の詳しい説明がほしい。	担当職員から、情報も含め、更に説明を行いたい。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	2	2		支援プログラムについての説明が、もっとほしい。	同プログラムの内容を含め、もっと説明を行いたい。

明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	4	1			口頭や、連絡ノートにて共有理解ができている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	2	1		面談や、訪問による説明等、よく支援が行われている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3		保護者会などの、交流の場があればいいと思う。	施設見学等の機会を利用して、積極的に連携支援を行いたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5				相談や申し入れについても、すぐに対応していただいている。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1			連絡ノートにより、療育の内容が、より分かりやすくになっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	3		1	ホームページによる情報がほしい。	ホームページについては、今後、再考します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5				良く管理され、写真においても、目消しを行い注意されている。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3		1	1		マニュアルの掲示など、注意喚起している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			2		本年12月にも、想定訓練を行うなど、必要な訓練を実施している。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5				毎日、楽しみに過ごしている様子です。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4		1		その子どもに応じた支援が行われていると思う。	ピアニストによる、直接のピアノ演奏など、多方面から考えた療育を行っています。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:平成 30 年 12 月 28 日

事業所名 ちゃぼとひよこしまなみ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			児童発達と放課後ディの教室を分けている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		経験者を平均配分している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	2	児童に応じて職員が付き添っている。	靴を履く場所のバリアフリー化が必要
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		定期的に会議を行い、意見や情報交換を行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		4	2	口頭による意見の調査を行っている。	今回実施のアンケートを引き続き実施
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4			更に、公開に努めたい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3			利用者の意見や要望により応えられる運営を行う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			研修参加の機会を確保する。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		研修情報を生かしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		日々計画を事前に企画している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3		役割計画以外に、当日に確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		ミーティングで検証している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	3			更に、密に実施する。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2			親に一報するが、医療機関の通報も考慮する。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3			
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3			
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2			
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6				
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6				
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2			今後、更に進める。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5			支援を呼び掛ける。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2			
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3			更に、寄り添う活動を行う。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4			支援の輪を広げたい。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		反省点も含め、各訪問し、対応している。	今後、更に苦情に耳を傾け、内容を共有したい。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2			
	㉝	個人情報に十分注意しているか	4	2		画像等に特に注意している。	
	㉞	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		情報の伝達に心掛けている。	
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3			
非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2			危機管理マニュアルを更に周知したい。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1			
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			人身の保護について意識共有している。	
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			6		身柄の拘束については想定していないため、検討する。
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			診断書等の情報を共有している。	
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2			

公表:平成 30 年 12 月 28 日

事業所名 ちゃぼとひよこしまなみ

保護者等数(児童数) 6 回収数 4 割合 66 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	2			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3			
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	2	2			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3		1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3		1		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	1	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	実施している、施設参観の日を事前に良く連絡します。	保護者会の開催はない。連携もない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		引き続き、相談にのりたいと思います。	相談したい内容は、施設の責任者が相談にのってくれる。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3		1	引き続き行います。	最近ノートで連絡がある。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2		2	担当者からも、意思の疎通に心掛けています。	以前は、連絡が少なかったが、最近は良く連絡してくれる。
⑭	個人情報に十分注意しているか	3		1	注意して運営を行います。	学校と施設間で注意が必要。	
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2	1		
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	4				
	⑱	事業所の支援に満足しているか	2	1	1		

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っています。

ただし、その結果を集計したものです。